

第39回鹿児島県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～警察・弁護士会等と保険犯罪の根絶に向けた連携を確認～

鹿児島損害保険防犯対策協議会(会長:竹内 秀夫 東京海上日動火災保険株式会社 鹿児島支店長)は、1月17日(金)、来賓および会員等35名出席のもと、第39回総会を開催いたしました。

開会に際し、協議会会長 竹内から、関係団体等の支援・協力への謝意表明とともに、「本協議会では、多くの方々のご協力によって、保険金等詐欺や不正請求の防止に向けた取組みを連綿と推進してきた。複雑化・巧妙化している不当不正請求・自然災害の頻発化・激甚化に便乗する悪徳業者などについて、関係機関と連携し効果的に不当不正請求防止を図っていく。それとともに、今般の保険業界における不適切事案に対しては、業界慣行の見直しにも踏み込み、法令等遵守の徹底をはじめ、業界として信頼回復の取組みを進める。」との挨拶がありました。

来賓祝辞をいただいた鹿児島県警察本部 岩城孝志 交通部長からは、「昨年の県下の交通情勢については、死者数53人と、前年比13人増と、不名誉なこととなった。死者の半数以上が高齢者であることから、高齢者対策を喫緊の課題として、様々な対策をしていきたい。また、昨年11月には保険詐欺を行った整骨院の関係者を逮捕した。本件は、保険会社の情報提供が端緒となり立件につながっており、このような事案は組織性や潜在性が強く、顕在化しづらい犯罪であるので、引き続き、情報連携の協力をお願いしたい。」との祝辞をいただきました。

また、鹿児島損害サービス部会 副幹事 高橋 翔太(日新火災海上保険株式会社)からの活動報告につづき、鹿児島県警察本部 交通指導課特捜係 田中 誠 補佐より、昨年検挙に至った「柔道整復師等による保険金事件捜査」、鹿児島県弁護士会 民事介入暴力対策委員長 桃木野 聡弁護士からは「カスタマーハラスメント(クレーム対処法)」につき、ご講演をいただきました。

引き続き、鹿児島県暴力追放運動推進センター 徳元 正浩 専務理事および、自動車安全運転センター 日高 末広 鹿児島県事務所長からも、両センターの利活用推進につき情報連携をいただき、鹿児島損害サービス部会代表幹事の矢作 正和(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)から、不正・不当請求の断固排除等に関する決議文の宣誓と採択、および閉会挨拶がおこなわれました。

九州支部では、鹿児島県警察や関係諸団体等と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安全・安心に貢献してまいります。

第 39 回 鹿児島県損害保険防犯対策協議会総会 式次第

1. 開会挨拶
鹿児島損害保険防犯対策協議会 会長 竹内 秀夫（東京海上日動社）
2. 来賓祝辞
鹿児島県警察本部 交通部長 岩城 孝志 様
3. 活動報告
鹿児島損害サービス部会 代表副幹事 高橋 翔太（日新火災海上社）
4. 講演
 - ・ 鹿児島県警察本部交通指導課特捜係補佐 田中 誠 様
 - ・ 鹿児島県弁護士会 民事介入暴力対策委員長 桃木野 聡 様
5. 連絡
 - ・ 鹿児島県暴力追放運動推進センター 専務理事 徳元 正浩 様
 - ・ 自動車安全運転センター 鹿児島県事務所長 日高 末広 様
6. 決議文採択
鹿児島損害サービス部会 代表幹事 矢作 正和（あいおいニッセイ同和社）
7. 閉会挨拶
鹿児島損害サービス部会 代表幹事 矢作 正和（あいおいニッセイ同和社）